

事業者用 トイトイトイ到津単1(放課後等デイサービス) 評価表

令和7年11月実施

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			複数部屋が分かれている環境において、工夫次第でスペースを確保し、指導訓練室等との関係で利用定員に対して適切な環境づくりに努めている。
	② 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基準上よりかなり多めの職員配置かつ専門職も配置できている。専門職も複数配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		身体が不自由な利用児童がいない。室内はバリアフリーだが、入口の段差やトイレの狭さがある為、職員が付き添うなど工夫しながら対応していく。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>		職員全体での幅広い参画体制の確立が課題であり、現状は個人単位での実施や社員主導に留まっている傾向あり。パート職員を含めた話し合いの機会を設けていく。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			年1回実施し、保護者の意向・要望を把握し、職員で周知し、改善に取り組んでいる。
	⑥ この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページに公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		外部評価の実施自体が職員間で統一されて把握されていない。実施はしているため、結果の共有を行っている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			職員の資質向上のための外部研修の機会を積極的に、かつ定期的に確保できており、現場に活かしている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			標準化されたアセスメントツールの使用と保護者からの聞き取りを組み合わせることで、多角的な視点を統合し、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した計画立案に努めている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			「S-M社会生活能力検査」を年に1回実施。またツールを用いて計画書更新のタイミングでアセスメントを実施している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			多職種で連携して立案を行っている。実施後は振り返りを行い、次のプログラムに活かしている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			個別支援と集団支援のバランスを考慮し、子どもの状況や季節・期間に応じて課題設定を行っている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		<input type="radio"/>		活動時間に合わせたプログラム内容を設定しているが、集団での活動が多く、個別についてはまだ課題あり。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別活動・集団でのレクリエーション活動・少人数でのグループ活動を組み合わせで行っている。さらなる個別活動の充実を目標としている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			LINEWORKSによる文字での確認とミーティングによる言葉での確認にて、当日の流れ、活動・支援内容、役割分担や注意事項の確認を細かく行い、職員間で共有できている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			タイムリーに共有できるように、その都度情報をスマホや対面で伝達しあい、共有できるように工夫している。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	○			上記内容で情報共有ができているため、それをしっかりHUGに記載している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的実施できている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			日常生活動作や自立支援・季節に合わせたの活動・自己選択できる活動を取り入れている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて児童発達支援責任者・管理者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			情報共有は家族からの連絡や送迎時に先生と直接情報交換を行っている。急な報告・相談・トラブル発生時は電話で行っている。必要に応じて担当者会議を開き、情報共有に努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			定期的に来所していただき、必要に応じて連絡ができる体制を取っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		トイトイトイ到津2号館から移行する児童については、密に情報共有を行っているが、その他については保護者からいただく紙面での情報共有にとどまっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、ご利用者が全て小学生の為、対象者がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現在できていない為、今後はセンター開催の研修等への参加を検討していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	外出活動の際に少し交流する機会がある程度で、積極的にそういう場を設けることはできていないため検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後、検討していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時、HUGや公式LINE（必要に応じて電話）にて日々の状況を報告している。気になることがあれば迅速に保護者へ報告し、情報共有やご提案を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要時や相談を受けた際には、支援方法等を助言させて頂き、共通理解に努めている。また日曜日のイベントなどを活用し、こちらから積極的に話していく機会を持つように意識している。
保護者への説明責任	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時の重要事項説明の際に行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その場での対応や返答が難しい場合は、持ち帰り職員間で検討した上で、適切な助言を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			参加者は限られているものの定期的に保護者参加の活動を行い、保護者の交流の機会は作れている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情に対しては管理者・児童発達支援管理責任者が迅速に対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保		○		毎月活動予定表を公式LINEにて配信しており、活動概要や行事予定を記載しているが、それ以外の情報は配

任 等		護者に対して発信しているか			信できていない。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に関しては、紙の書類は施錠し管理している。必要なくなった書類はシュレッダーで破棄している。データについてもパスワードの必要なクラウド上に保管している。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		特性に応じて、自作のツールを使用したり、話し方を工夫したりして、視覚的にも情報を取り入れられるようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施できていない為、今後検討していく。
非 常 時 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルの策定はしているものの、保護者への周知は不十分である為、今後は定期的に説明できる機会を作る。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的を実施しているが、今後は様々な災害に備えた訓練内容の充実を図る。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に外部講師による研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時の重要事項説明の際に行い、必要性が高い場合には個別支援計画書に記載し、更にその都度説明を実施している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書の提出はしてもらっていないが、医師の指示を保護者に確認した上で対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット発生時は報告書を作成し共有しているが、頻度が少なく十分には拾えていない。今後意識して拾っていく。